

福岡県医発第1004号(地)

平成16年 9月 3日



各医師会長 殿

福岡県医師
会長 竹嶋 康



海外で発生した高病原性鳥インフルエンザについて

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、別添のとおり厚生労働省より情報提供がなされた旨、福岡県保健福祉部より連絡がありましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 友清 明・永田正和



「公印省略」

16健第 1913号
平成16年8月27日

福岡県医師会長 殿

福岡県保健福祉部健康対策課長
(健康対策課結核感染症係)

海外で発生した高病原性鳥インフルエンザについて

標記の件について、別添のとおり厚生労働省から情報提供がありましたのでお知らせします。

海外における高病原性鳥インフルエンザの流行について

現在、ベトナム等に加え、マレーシアにおいても高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。

このウイルスによる市中感染の兆しは現在のところ確認されておきませんが、当該地域へ渡航される方は一般的なインフルエンザの予防に心がけるとともに、生きた鳥等を販売している市場等には立ち入らないようにして下さい。

また、人への感染が確認されていない国においても、感染した鳥との密接な接触等により人への感染の可能性は否定できませんので同様な注意が必要です。

5月以降も高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されている国
(平成16年8月19日現在)

インドネシア、タイ※、中国、ベトナム※、マレーシア

※ この冬以降、人への感染が確認された国

高病原性鳥インフルエンザとは

- (1) 鳥インフルエンザのうち、感染した鳥の致死率が高い特定のウイルスのもので、鳥から鳥へ直接、又は水、排泄物等を介して感染します。鶏、あひる、七面鳥、うずら等が感染し神経症状、呼吸器症状、消化器症状を呈します。
- (2) 感染した鳥との密接な接触等により、人に感染した事例が希に報告されています。食品(鶏卵、鶏肉)を食べることにより人に感染した報告はありません。

(参考)

一般的なインフルエンザの予防方法

(1) 旅行前の注意

出発前から体調が悪いと抵抗力が落ちることから、出発前から体調を整えることは病気の予防にも大切なことです。

(2) 旅行中の注意

体調に不安がある場合は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

また、外出時にはマスクを利用したり、宿泊先では加湿器などを使って適度な湿度を保ちましょう。うがい、手洗いは、かぜの予防と併せておすすめします。

(3) 旅行後の注意

海外旅行から戻って、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、併せて普通のかぜと同様、のどの痛み、鼻汁などの症状があれば早めに医療機関を受診して下さい。